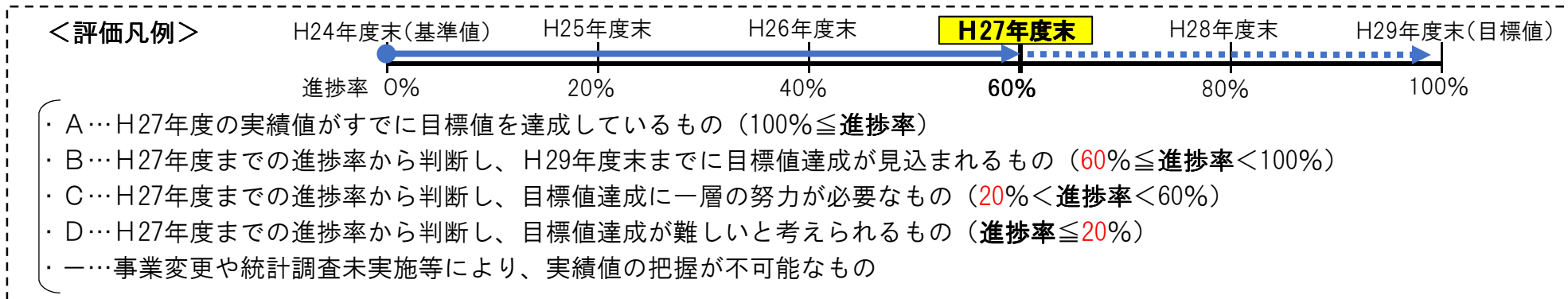


後期基本計画に掲げる「めざそう値」（目標値）に対する、H27年度実績値と達成率・進捗率評価について

- 後期基本計画で設定した、H29年度を着地点とする「めざそう値」（目標値）について、H27年度の実績値から**進捗率**を算出した。
- 「めざそう値」に対する**進捗率**を、A・B・C・D・ーの5段階で評価した。



「めざそう値」指標 (後期基本計画で設定した100項目を掲載)

H27までの**進捗率** (基準値からH27までに実際に伸びた数/目標値と基準値との差)

H27年度の実績値から見た「めざそう値」**達成率** (目標値に対し、H27年度時点でどの程度達成しているか)

進捗率の評価 (A,B,C,D,ー)

第1章 都市基盤が充実し、ひとやもの、情報が活発に交流するまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値(めざそう値)	達成率 b/c	目標値(c)に対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$	進捗率に基づく評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27 b	H29 c					
1	市民の道路整備に関する満足度 (1-1)	49.5% (H25)	50.4%	50.8%	55%	92.4%	23.6%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 谷口中河線：H28年3月に県道島田吉田線から330mの区間を供用開始した。 ・ 蓬萊橋線：JR東海道本線からアビタ交差点までの180mの区間について、両側側溝の5m道路として整備した。 ・ 細島中央線、岸元島田線、番生寺島線、本通り向谷線：継続して舗装補修を行い、道路交通の安全性を向上させた。 	建設課
2	地域間交流の促進(年間) ※川根温泉及び川根温泉ホテルの利用者数 (1-1)	328,652人 (H25)	371,003人	397,170人	350,000人	H26・27年度 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川根温泉ホテルが開業から2年目を迎え、知名度の向上や指定管理者による営業改善等により利用者増へと繋がった。 ・ 川根温泉については、日帰り入浴利用者数に減少があったものの、愛知県東部への新たなPR活動の実施により全体の利用者は増加した。 ・ 静岡空港利活用の推進によるインバウンド客数は935人となった。 	観光課

施策の柱

施策の柱別 進捗率評価 集計表

第1章 都市基盤が充実し、ひとやもの、情報が活発に交流するまち

施策の柱		A	B	C	D	—	項目数
1-1	全国・世界へ広がる物流・交流拠点の形成	1		1			2
1-2	総合的な道路網の整備			1	1		2
1-3	公共交通基盤の整備	1					1
1-4	住環境の整備	1			2		3
1-5	公園緑地の整備	1		2			3
1-6	魅力ある景観の保全			1			1
1-7	地域情報化と電子自治体の推進	1			1		2
小 計		5	0	5	4	0	14

第1章

評価	割合
A	36%
B	0%
C	36%
D	28%
—	0%

第2章 市民が安全・安心に暮らせるまち

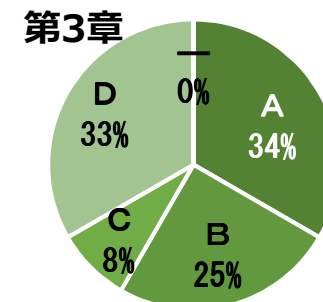
施策の柱		A	B	C	D	—	項目数
2-1	危機管理体制の強化				3		3
2-2	地震、風水害、土砂災害対策の充実		1	2	1		4
2-3	消防・救急・救助体制の充実	2		1	1		4
2-4	地域防犯体制の強化	1			2		3
2-5	交通安全対策の充実	1			2		3
2-6	消費生活対策の充実	1		1	1		3
小 計		5	1	4	10	0	20

第2章

評価	割合
A	25%
B	5%
C	20%
D	50%
—	0%

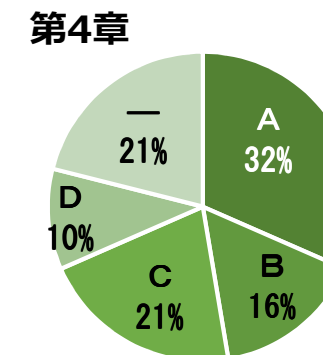
第3章 産業が生き生きと活発なまち

施策の柱		A	B	C	D	—	項目数
3-1	農林業の振興	1		1	2		4
3-2	工業の振興		2				2
3-3	商業・サービス産業の振興	1	1				2
3-4	観光の振興	2			2		4
小 計		4	3	1	4	0	12



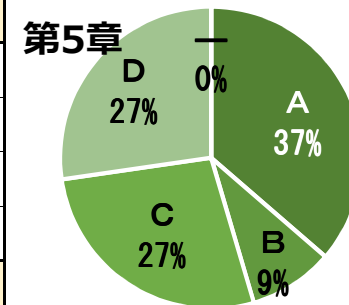
第4章 だれもが健やかで幸せに暮らせる健康・福祉のまち

施策の柱		A	B	C	D	—	項目数
4-1	地域福祉の推進			1			1
4-2	子ども・子育て支援の推進	2		1			3
4-3	高齢者福祉の推進	2	1	1		1	5
4-4	障害者福祉の推進	1	1				2
4-5	健康づくりの推進			1		2	3
4-6	地域医療の充実	1			1	1	3
4-7	国民健康保険事業の健全な運営		1		1		2
小 計		6	3	4	2	4	19



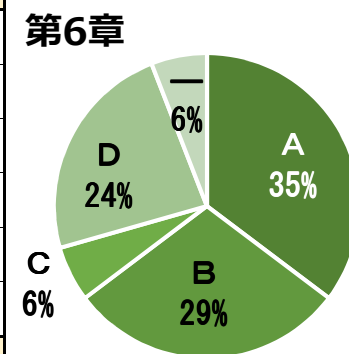
第5章 自然と共生する資源循環型のまち

施策の柱		A	B	C	D	—	項目数
5-1	環境への負荷を低減させるまちづくりの推進	1	1	1	1		4
5-2	循環型社会の推進と生活環境の保全	1		1	1		3
5-3	自然環境の保全と活用	1		1			2
5-4	環境教育の充実	1			1		2
小 計		4	1	3	3	0	11



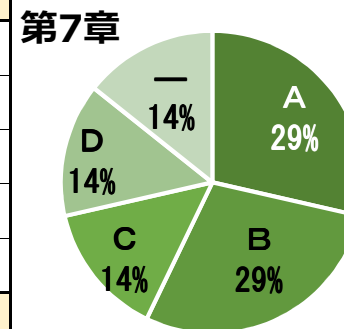
第6章 人を育て、歴史を大切に新しい文化を創造するまち

施策の柱		A	B	C	D	—	項目数
6-1	学校教育の充実		3		1		4
6-2	生涯学習の充実	1	1	1	1		4
6-3	青少年の健全育成	3					3
6-4	スポーツの振興	1				1	2
6-5	文化・芸術活動の振興	1	1		1		3
6-6	歴史資源の保存と活用				1		1
小 計		6	5	1	4	1	17



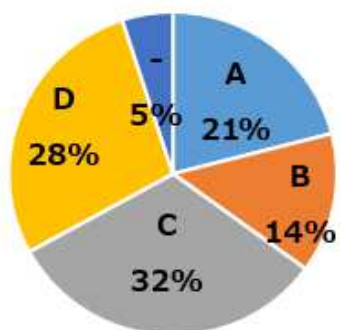
第7章 市民と行政がともに創る、活力に満ちたまち～まちづくりの進め方～

施策の柱		A	B	C	D	—	項目数
7-1	市民参加・地域主体のまちづくりの推進		1				1
7-2	人権の尊重、男女共同参画社会の形成	1				1	2
7-3	公共施設の整備と適正配置		1				1
7-4	国内外の地域との交流促進			1			1
7-5	開かれた行政と行財政の効率化	1			1		2
小 計		2	2	1	1	1	7

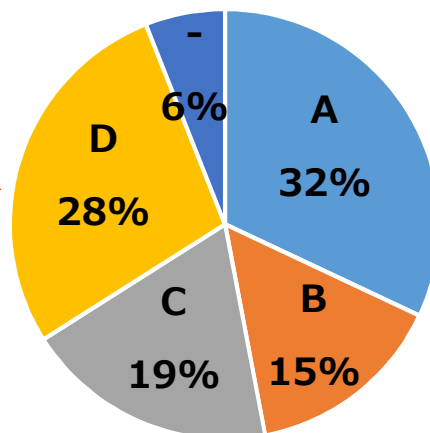


第1章～第7章 合計	32	15	19	28	6	100
割合	32%	15%	19%	28%	6%	100%
対前年比	+11%	+1%	△13%	-	+1%	

H26年度末



H27年度



H26年度から増加した1項目
 ・No.55 げんきアップシニア把握事業
 (二次予防対策事業)

第1章 都市基盤が充実し、ひとやもの、情報が活発に交流するまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値（めざそう値）	達成率 b/c	目標値（c）に 対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$	進捗率 に基づ く評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27	H29 c					
1	市民の道路整備に関する満足度 (1-1)	49.5% (H25)	50.4%	50.8%	55%	92.4%	23.6%	C	<ul style="list-style-type: none"> 谷口中河線：H28年3月に県道島田吉田線から330mの区間を供用開始した。 蓬萊橋線：JR東海道本線からアピタ交差点までの180mの区間について、両側側溝の5m道路として整備した。 細島中央線、岸元島田線、番生寺島線、本通り向谷線：継続して舗装補修を行い、道路交通の安全性を向上させた。 	建設課
2	地域間交流の促進（年間） ※川根温泉及び川根温泉ホテルの利用者数 (1-1)	328,652人 (H25)	371,003人	397,170人	350,000人	H26・27年度 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> 川根温泉ホテルが開業から2年目を迎え、知名度の向上や指定管理者による営業改善等により利用者増へと繋がった。 川根温泉については、日帰り入浴利用客数に減少があったものの、愛知県東部への新たなPR活動の実施により全体の利用者は増加した。 静岡空港利活用の推進によるインバウンド客数は935人となった。 	観光課
3	幹線道路（都市計画道路） 整備率 ※(改良済+既成済)／総延長×100 (1-2)	84%	85.3%	85.5%	89%	96.1%	30.0%	C	<ul style="list-style-type: none"> (都)谷口中河線大柳南中河工区の一部区間（中河地内）において供用を開始した。 実績値の上昇幅は小さいが、(都)谷口中河線、(都)二軒家牛尾線、(都)東町御請線は着実に整備を進めており、今後の実績値の上昇を見込んでいる。 	都市計画課
4	橋りょう長寿命化修繕工 実施数 (1-2)	3橋	3橋	10橋	51橋	現時点では達成困難 ※次期計画において適切な指標 設定と目標値の見直しを 図ります。		D	<ul style="list-style-type: none"> H27年度は計7橋（菊神橋、向橋、平野橋、西門前橋、大沢橋、万代橋、静居寺橋）の修繕工事を実施し、実績値は10橋となった。 橋りょう長寿命化修繕計画に基づき社会資本整備総合交付金（道路・防災）事業として進めているが、国庫補助金の内示額により事業実施数が左右されるところである。 	建設課
5	コミュニティバス利用者数 (1-3)	374,254人	369,957人	379,717人	375,000人	H27年度 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> 少子化の進展による通学利用の減少、高齢者の運転免許保有率の高さ及び介護サービス等による移動支援の普及といった様々な要因が重なり、H24年度からは各年で増減を繰り返している。 回数券の販売やコミュニティバスに市民が自由に乗車できるイベント、広報掲載などのPR活動も行い、利用者の増に努めている。 増加した利用者の約8割が伊久身線、湯日線、田代の郷温泉線の利用者である。 	生活安心課
6	新設住宅着工件数 (1-4)	670戸	570戸	569戸	720戸	現時点では達成困難 ※次期計画において適切な指標 設定と目標値の見直しを 図ります。		D	<ul style="list-style-type: none"> 消費税増税による駆け込み需要増加の結果、H25年度の新設住宅着工件数は増加し、H26年度からは減少傾向にある。 今後も消費税の再増税が見込まれることから、それまでの間の実績値は横ばいになると考える。 	戦略推進課

第1章 都市基盤が充実し、ひとやもの、情報が活発に交流するまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値（めざそう値）		達成率 b/c	目標値（c）に 対する進捗率 $\frac{b-a}{c-a}$	進捗率 に基づ く評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27	H29	c					
7	地区計画の指定 (1-4)	3 か所 (77.0ha) (H25)	3 か所 (77.0ha)	3 か所 (77.0ha)	4 か所 (78.0ha)				D	・文化課を中心に、島田宿大井川川越遺跡整備基本構想策定委員会を開催し、川越遺跡の活用を意識した周辺地区の整備・景観保全の方針等を検討した。しかし、地区計画の指定に至る見込みはない。	都市計画課
8	配水池耐震化率(貯水量率) ※貯水量率：全体容量＝ 17,988m3 (1-4)	28.8%	88.9%	100.0%	100%				A	・岡田配水池の耐震診断を行い、耐震性能が確保されていることが診断された。 ・主要施設の耐震化により水の供給を安定的に進めることができ、目標値は達成した。 ・今後は、経年劣化に対する長寿命化をふまえ、更新計画を立て整備していく必要がある。	水道課
9	公園・緑地整備面積 (1-5)	111.9 ha	112.7 ha	112.8 ha	112.0 ha				A	・民間の宅地造成行為により公園が新設され、実績値は目標値を上回った。 ◆主な公園・緑地整備場所 ・あさひガーデンプレイス(324.55㎡) …開発行為により新設 ・栃山頭首工緑地(454.00㎡) …大井川土地改良区より管理移管 ・帯桜緑地(25.00㎡)…帯桜の管理移転 ・今後、東町において公園を新設する予定である。	市街地整備課
10	生け垣づくり補助累計件数 (1-5)	1,090 件	1,116 件	1,128 件	1,215 件	92.8%	30.4%		C	・12件694千円の補助金を交付したが、年間の件数で見ると対前年比で4件372千円の減少となった。 ・今後は市広報紙等を活用し、積極的にPRを行っていく必要がある。	市街地整備課
11	公園愛護会団体数 (1-5)	46 団体	47 団体	47 団体	49 団体	95.9%	33.3%		C	・H27年度はH26年度と増減なく47団体であった。 ・公園の新設数が少ないため公園愛護会団体数の急増は困難だが、今後新設される公園については愛護会による管理を設置していきたい。 ◆H27年度活動実績：全体523回、延べ6,980人	市街地整備課
12	景観計画重点地区の指定数 (1-6)	—	1 地区	1 地区	2 地区	50.0%	50.0%		C	・文化課を中心に、島田宿大井川川越遺跡整備基本構想策定委員会を開催し、川越遺跡の活用を意識した周辺地区の整備・景観保全の方針等を検討した。	都市計画課

第1章 都市基盤が充実し、ひとやもの、情報が活発に交流するまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値（めざそう値）			進捗率 に基づく評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27	H29	達成率 b/c	目標値(c)に 対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$			
13	広報しまだ閲読率 (1-7)	—	85.5%	85.5%	80%	H26・27年度 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政の信頼関係を深めることに重点に置き、市民に親しまれるような紙面づくりを目指し企画・編集を行った。 ・H26年度に実施した広報効果・戦略プラン策定にかかるアンケートの調査結果及び媒体評価を基に、広報取組方針を策定した。 ◆受賞歴 <ul style="list-style-type: none"> ・全国広報コンクール5年連続入賞 ・H27年度静岡県広報コンクール市広報紙部門県知事賞受賞（H27年11月号） ・H28年全国広報コンクール広報紙市部門内閣総理大臣賞受賞（H27年11月号） 	広報課
14	市ホームページ総ページ ビュー数（年間） (1-7)	310万件	309万件	309万件	350万件	現時点では達成困難		D	<ul style="list-style-type: none"> ・データセンターにサーバを設置し、インターネット回線から更新することにより災害時や障害時における安定稼働を確保している。 ◆SNS利用状況（H28年9月7日現在）： <ul style="list-style-type: none"> ・Twitterフォロワー数 4,028件 ◆YouTube公開動画（H24年度公式チャンネル開設）： <ul style="list-style-type: none"> ・島田市プロモーションビデオ ・市長就任1年を振り返って ・女性議会 ・事業仕分け ・島田市新市誕生10周年を迎えて ～市長ビデオメッセージ～ ほか 	広報課

第2章 市民が安全・安心に暮らせるまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値(めざそう値)	達成率 b/c	目標値(c)に 対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$	進捗率 に基づく 評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27 b	H29 c					
15	市民の地域防災訓練参加者数 (年間) ※防災の日、地域防災の日に自主 防災組織が実施する訓練への参加 者数 (2-1)	50,444 人	50,281 人	28,190 人	55,000 人			D	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の参加は比較的多いが、仕事や行事、部活動等の要因により若者の参加が伸び悩んでいる。 ・H27年度の参加者数が減少した要因は、8月30日の防災訓練が大雨洪水警報の発令により中止となったことによる。 ・地域住民が自主的に防災訓練に参加するよう、今後も引き続き啓発活動を行っていく。 	危機管理課
16	防災リーダーの養成者数 (累計) (2-1)	44 人 (H25)	66 人	98 人	250 人			D	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の参加経費の一部を自主防災組織育成対策補助金で支援することとした。 ・H27年度には女性初の修了者を5人育成することができた。 ・本事業はH25年度に開始し、年間50人(各自主防災組織に対し2人程度)×5年=250人の養成を目指しているが、いずれの年度においても目標人数を下回る結果となっており、H29年度に目標値を達成することは困難であると考えられる。 	危機管理課
17	避難所運営会議の開催数 (年間) (2-1)	53 回	54 回	54 回	78 回	69.2%	4.0%	D	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値は、市内避難所39か所×運営会議開催2回で算出したもの。 ・自主防災会長・委員長会議において、避難所運営会議を開催するよう積極的に依頼をしているが、実際に開催するのは例年どおり特定の避難所のみ留まっている。 ・避難所運営会議の開催経費について、自主防災組織育成対策補助金の交付対象とすることを明確化し、各避難所での会議開催といった積極的な取組を支援した。 	危機管理課
18	民間住宅の耐震化率 (2-2)	76.3 %	79.5 %	80.2 %	90 %	89.1%	28.5%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報紙に「TOUKAI-0」総合支援事業の記事を掲載し、耐震化の啓発を図った。 ・S56年以前に建築された市内住宅約1,600戸に対しポスティングを実施した。 ・H27年度は50戸の耐震補強工事を実施した。 ・事業開始から14年が経過しており、耐震化工事を行う住宅の大幅な増加は見込めないが、今後は耐震化に関心の低い高齢者等に対し積極的に周知・啓発を行う必要がある。 	建築住宅課
19	橋りょうの耐震化実施数 ※緊急輸送路・避難路 (2-2)	5 橋	6 橋	6 橋	10 橋	60.0%	20.0%	D	<ul style="list-style-type: none"> ・市民生活に多大な影響がある橋の安全性の向上や、大規模災害発生時に重要な路線(緊急輸送路)となる橋の耐震性強化を進めており、計画どおり進捗している。 ・H28年度中に1橋(桜橋)、以降は7橋について耐震化を実施予定。 	建設課

第2章 市民が安全・安心に暮らせるまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値(めざそう値)	達成率 b/c	目標値(c)に 対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$	進捗率 に基づ く評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27	H29 c					
20	雨水幹線整備率 ※都市下水路含む (2-2)	50.9%	51.2%	51.4%	51.8%	99.2%	55.6%	C	<ul style="list-style-type: none"> 島田市雨水幹線整備事業として、島田第一中学校南側東角～横井排水区第6雨水幹線(問屋川都市下水路)L=33mの改修工事を実施した。これにより島田第一中学校上流部の排水区域約11.3haの宅地等が排水不良の地区から解消された。 島田市内の雨水幹線排水整備対象区域面積1,546haのうち、実施済面積は802.3haとなった。 	建設課
21	がけ地近接等危険住宅移転 事業による移転戸数 (2-2)	135戸	138戸	138戸	140戸	98.6%	60.0%	B	<ul style="list-style-type: none"> 市広報紙にがけ地近接危険住宅移転事業の記事を掲載し、事業の啓発を行った。 災害危険区域内の住宅に対し、戸別訪問と意向調査を行った。 危険住宅の移転先確保や資金計画の調整が難しいが、事業の趣旨を理解していただき、引き続き安全な場所への移転を継続的に進めていく必要がある。 	建築住宅課
22	救急救命士実働人員数 (2-3)	18人	20人	22人	21人	H27年度 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> 新たに2人の職員を救急救命士に認定した。 管内の救急車6台の適正運用を目的として、救急救命士研修への派遣を計画的に行ったことにより、H27年度は目標値を達成した。 消防救急広域化に伴い、H28年度以後は静岡市消防局の人事異動等の影響を受けることから、島田市管内の救急救命士数に変動が生じないよう、引き続き人員の適正な配置を求める必要がある。 	静岡市 島田消防署
23	救急講習年間受講者数(住民 が受講した一般講習、普通・ 上級救命講習及び普及員講 習) (2-3)	2,930人	5,762人	5,406人	3,000人	H26・27年度 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> 住民に対し、消防職員、応急手当指導員・普及員による救急講習会を開催した。(講習会数:164回) 受講者数の目標値は達成しているものの、受講者数は対前年比で減少しているため、今後は救急講習会の開催方法を検討し、受講者の増加を図るとともに講師の育成に努めていく。 	静岡市 島田消防署
24	住宅用火災警報器の普及率 (2-3)	74.4%	73.0%	89.0%	100%	89.0%	57.0%	C	<ul style="list-style-type: none"> 火災警報器の設置促進活動として、春季・秋季火災予防運動期間中の一般家庭防火訪問の実施、しまだ産業祭への出店、市内JR駅での広報活動などを行った。 H26年度及びH27年度初期の実績を元に、設置率の低い地区に対し重点的に設置指導を行ったことにより、対前年比16%の増に繋げることができた。 今後も市内全戸の火災警報器設置を目標に、未設置の住宅に対し設置の必要性について説明していく。 	静岡市 島田消防署

第2章 市民が安全・安心に暮らせるまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値(めざそう値)	達成率 b/c	目標値(c)に 対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$	進捗率 に基づく 評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27	H29 c					
25	消防団員数 (2-3)	870人	881人	872人	900人	96.9%	6.7%	D	・年2回発行する消防団広報誌やFacebookページ等を用いて活動紹介や団員募集を行っているものの、退団者数に対し入団者数が少ない傾向が続いている。(H26年度末退団者数65人、H27年度4月1日付け入団者数45人) ・市内の事業所への協力依頼も積極的に行っていくほか、協力事業所(団員を雇用している事業所)へのメリットも検討する必要がある。	危機管理課
26	年間犯罪発生件数(刑法犯 認知件数) (2-4)	621件	420件	457件	550件以下	H26・H27年度 目標値達成		A	・市、警察署、静岡県防犯協会、地域安全推進委員が防犯の啓発活動を行った。 ・目標値は達成しているものの、発生件数は前年度よりも増加しているため、地域安全推進員ほか防犯関係団体と情報共有・連携を図り、戸締りの徹底や自転車盗難対策、特殊詐欺等の被害が減少するよう啓発活動を実施していく。	生活安心課
27	防犯まちづくり講座開催回 数(年間) (2-4)	13回	9回	8回	24回	現時点では達成困難 ※次期計画において適切な指標 設定と目標値の見直しを 図ります。		D	・防犯まちづくり講座として「ふれあいしまだ塾」8回の中で講座を開催した。 ・静岡県防犯協会による「防犯講習会」開催回数は55回であり、講座と講習会との合計回数で見ると増加している。 ・地域安全推進委員92人による防犯活動や地域安全会議5団体による自主的な勉強会も増加しており、 <u>市への講座開催依頼が減少傾向にある。</u> ◆島田警察署管内防犯協会による講座開催回数(参考) ・H25年度35回、H26年度48回、H27年度55回	生活安心課
28	地域の見守りネットワー ク数(自治会) (2-4)	20自治会	22自治会	22自治会	30自治会	73.3%	20.0%	D	・自治推進委員連絡会議において、自治会での小学生の登校時の見守り活動を依頼するとともに、ボランティア活動の重要性を呼びかけた。 ・H26とH27年度とを比較し増減はないが、団体に囚われないボランティアとしての活動が増加した。H28年度にはさらに2自治会が活動団体として申請予定である。	生活安心課
29	交通事故(人身事故)発生 件数(年間) (2-5)	824件	719件	724件	750件以下	H26・27年度 目標値達成		A	・交通安全街頭指導を年5回実施し、交通事故撲滅を呼びかけた。 ・H26年度と比較しH27年度の事故発生件数が微増となった。特に高齢者に関連する事故が増加していることから、これを喫緊の課題とし、警察署とともに事故防止策を一層強化したい。	生活安心課

第2章 市民が安全・安心に暮らせるまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値(めざそう値)	達成率 b/c	目標値(c)に 対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$	進捗率 に基づく 評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27	H29 c					
30	交通事故死者数(年間) (2-5)	7人	3人	5人	4人以下			D	<ul style="list-style-type: none"> ・H26年9月25日～H27年7月2日の278日間において交通死亡事故ゼロを達成したが、H27年度後半に死亡事故が多発し、交通事故死者数はH26年度件数より増加した。 ・年間5回の交通安全早期街頭指導を実施したほか、市内飲食店をまわり飲酒運転撲滅のための指導を行った。 	生活安心課
31	地域交通安全講習会の開催回数(年間) (2-5)	15回	13回	10回	48回		現時点では達成困難 ※次期計画において適切な指標設定と目標値の見直しを図ります。	D	<ul style="list-style-type: none"> ・警察署及び交通安全協会による交通安全講習会や、事業所等による自主勉強会等が実施されており、市への講座開催依頼が減少傾向にある。 ・参加協働型運動の展開や安全知識の普及を目指した自主的な活動が実施され、これと合わせると目標値を上回る数となる。 ◆交通安全協会による講習会開催回数(参考) <ul style="list-style-type: none"> ・H26年度91回、H27年度85回 	生活安心課
32	消費者被害防止啓発講座開催件数(年間) (2-6)	23回	19回	19回	40回		現時点では達成困難 ※次期計画において適切な指標設定と目標値の見直しを図ります。	D	<ul style="list-style-type: none"> ・総務省が推奨する「e-ネットキャラバン」(インターネットの安心・安全利用に関する啓発活動)の講師を養成し、市内2校において児童・生徒向けにケータイ・スマホ講座を実施した。 ・老人クラブ会長への講座案内の発送のほか、国保年金課から高齢者宛に発送する通知に講座の紹介を同封するなどし、高齢者団体に対して講座を14回開催した。 ・上記に加え、青年団やケアマネージャーに対し講座を開催した。 	生活安心課
33	消費生活用製品安全法に基づく立入検査実施数(年間) (2-6)	3店	4店	6店	6店		H27年度 目標値達成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・圧力鍋、乗車用ヘルメットなど、消費生活用製品安全法に定められた製品を店頭にて検査し、PSCマークが表示されていることを確認した。 	生活安心課
34	家庭用用品品質表示法に基づく立入検査実施数(年間) (2-6)	6店	7店	7店	10店	70.0%	25.0%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・洗濯機、暖房器具など家庭用品品質表示法に定められた製品を店頭にて検査し、外寸その他必要な事項が表示されているか確認した。 	生活安心課

第3章 産業がいきいきと活発なまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値（めざそう値）		達成率 b/c	目標値（c）に 対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$	進捗率 に基づく評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27	H29	H26					
35	認定農業者数 (3-1)	384 人	388 人	392 人	424 人	92.5%	20.0%	D	<ul style="list-style-type: none"> ・ H27年度は、認定農業者の期間満了者が99人おり、そのうち再認定が91人、新規認定が12人で微増となった。 ・ 農業従事者の高齢化や後継者不足のほか、茶価低迷も伴い、認定農業者数の新規・更新認定数が伸び悩んでいる。 	農林課	
36	人・農地プラン経営体掲載数 (3-1)	22 経営体	227 経営体	250 経営体	100 経営体	H26・27年度 目標値達成 ※次期計画において適切な指標 設定と目標値の見直しを 図ります。		A	<ul style="list-style-type: none"> ・ H27年度は各事業補助金の給付要件を満たすためにプラン策定・更新を行う経営体が多かったため、目標値を達成できた。 ・ 新規就農者や経営体育成支援事業実施者をプラン経営体として追加したほか、農地中間管理事業（機構集積協力金）を活用しながらプランを策定した。 	農林課	
37	担い手への農用地利用集積割合 (3-1)	37.4%	38.2%	38.3%	41.5%	92.3%	22.0%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ H27年度の集積割合は認定農業者の増加に合わせやや増加し、集積面積合計は1,258haとなった。 ◆認定農業者数 <ul style="list-style-type: none"> ・ H27年度392人、H26年度388人、H25年度380人 	農林課	
38	森林間伐面積（年間） ※補助分 (3-1)	108.20 ha	83.38 ha	64.80 ha	135.00 ha	現時点では達成困難 ※次期計画において適切な指標 設定と目標値の見直しを 図ります。		D	<ul style="list-style-type: none"> ◆H27年度整備面積内訳： <ul style="list-style-type: none"> ・ 「しずおか林業再生プロジェクト推進事業」の間伐による整備面積31.32ha ・ 「森林環境保全直接支援事業」の間伐による整備面積33.48ha。 ・ 補助金交付対象の条件となる、経営計画の策定や自立支援を引き続き行っていく。 	農林課	
39	地域産業振興事業費補助件数 (3-2)	42 件	69 件	87 件	115 件	75.7%	61.6%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内商工団体担当者と金融機関担当者等に制度内容を説明を説明したほか、企業懇話会や商工団体の会議にて、資料の配付を行った。 ・ H27年度は年間18件の補助を行い、目標値達成に向け概ね順調に推移している。しかし、制度自体について今だ認知度が低いと考え、H28年度は島田市産業支援センターにて事業者向け説明会や個別相談を行い、補助制度の周知に努めたい。 	商工課	
40	企業立地促進事業費補助件数 (3-2)	2 件	6 件	11 件	15 件	73.3%	69.2%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業立地の促進を図るため、県内外の企業を訪問等するなど積極的なPR活動を実施するとともに、市ホームページにて市内の遊休地や工業用地の優位性等の情報発信を行った。 ・ H28年度は1社への補助金交付を見込んでおり、今後も引き続きPRを行う。 	商工課	

第3章 産業がいきいきと活発なまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値(めざそう値)	達成率 b/c	目標値(c)に 対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$	進捗率 に基づく 評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27	H29					
41	地域ブランド商品の認定数 (3-3)	-	-	10件	10件	H27年度 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で生産(または企画)し販売されている産品を対象に、「島田の逸品」として募集・認定した。 ・H27年度は一次選考と最終選考を経て、10月26日に10品を認定し発表した。 ・H28年度も同様に「島田の逸品」を認定し、島田市の知名度の向上を図るとともに、販路開拓支援に繋げる。 	商工課
42	中心市街地(本通り二丁目交差点)の歩行者数(年間) (3-3)	1,517人/日	1,992人/日	1,985人/日	2,000人/日	99.3%	96.9%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地において実施された5事業に対し、島田市にぎわい商店街支援事業補助金を交付した。 ・地域交流センター歩路を活用した新たなイベント等も開催され、一定の賑わいを創出しているものの、中心市街地全体の賑わいには繋がっていない。 ・H28年度からは、おび通りを活用した新たな事業展開を図る。 	商工課
43	観光交流人口(年間) (3-4)	244.5万人	236.7万人	240.4万人	300万人	現時点では達成困難 ※次期計画において適切な指標設定と目標値の見直しを図ります。		D	<ul style="list-style-type: none"> ・H27年度は島田大祭や金谷茶まつり等の大型イベントはなかったが、大井川鐵道線のきかんしゃトーマス運行に合わせたおもてなし事業の実施により、大井川流域での観光周遊を促進し、実績値がH26年度を上回った。 ・来訪客が増加している蓬萊橋において、観光パンフレット等での市内観光施設PRを行った。 ・今後も引き続き、大井川流域を中心とした3市1町(藤枝市・焼津市・川根本町)広域観光連携協議会や中部・志太榛原地域連携DMOといった広域連携を加速、深化させ、観光誘客の促進に努めていく。 	観光課
44	島田市内宿泊者数(年間) (3-4)	113,817人	183,901人	197,350人	148,000人	H26・27年度 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> ・大井川鐵道線のきかんしゃトーマス運行に合わせ、大井川流域観光事業実行委員会によるおもてなし事業により、宿泊事業者と連携してPRを行った。 ・空港就航先への観光PRにより、中国人観光客によるインバウンド効果に繋がった。 ・H27年度実績値はH26年度を上回っているものの、H27年度後半から中国人インバウンドが減少傾向にある。 ・今後も引き続き、大井川流域を中心とした3市1町(藤枝市・焼津市・川根本町)広域観光連携協議会や中部・志太榛原地域連携DMOといった広域連携を加速、深化させ、圏域での滞在時間の延長と宿泊に繋げる取組を行う。 	観光課

第3章 産業がいきいきと活発なまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値 (めざそう値)	達成率 b/c	目標値 (c) に対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$	進捗率に基づく評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27	H29					
45	田代の郷温泉「伊太和里の湯」利用者数 (年間) (3-4)	205,423 人	201,911 人	179,158 人	220,000 人		現時点では達成困難 ※次期計画において適切な指標設定と目標値の見直しを図ります。	D	<ul style="list-style-type: none"> ・バスツアー客の受入による誘客や施設のメンテナンス等に力を入れて取り組んだが、利用者数は年々減少傾向にある。 ・温泉のみではなく、ハイキングコースの活用や近隣市町の類似観光と連携することにより、大井川流域への集客を図り、利用者の増に繋げる。 	観光課
46	川根温泉及び川根温泉ホテル利用者数 (年間) (3-4)	328,652 人	371,003 人	397,170 人	350,000 人		H26・27年度 目標値達成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・川根温泉ふれあいの泉において、トイレ便器の取替等の施設メンテナンスを行ったほか、温泉シールラリー事務局と連携し愛知県東部の道の駅へパンフレットを配架したことにより、利用者増を図った。 ・川根温泉ホテルでのバイキング料理について、利用者の意見を反映したものへ改良した。 ・川根温泉の日帰り入浴客はやや減少傾向にあるが、コテージ宿泊者数は増加している。 	観光課

第4章 だれもが健やかで幸せに暮らせる健康・福祉のまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値			目標値 (めざそう値)		達成率 b/c	目標値 (c) に対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$	進捗率に基づく評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27	H29	H26	H27					
47	地区社会福祉協議会等の設置数 (4-1)	7 か所	10 か所	10 か所	20 か所	50.0%	23.1%	C	・7つの全中学校区を対象に、島田市社会福祉協議会と合同で地区福祉懇談会を実施し、地区社会福祉協議会の必要性を説明した。その結果、H27年度末現在、新たに2地区が地区社会福祉協議会設置に前向きな姿勢を見せており、立ち上げに向け必要な支援を行っていく。	福祉課		
48	赤ちゃん訪問実施率 (4-2)	98 %	99.4 %	100 %	100 %	H27年度 目標値達成		A	・保健師または助産師が、市内在住の対象乳児（生後1～4か月）755人とその保護者を訪問し、乳児の月齢に応じた健康チェックや育児・保健指導、予防接種・乳児健診の説明を行った。 ・「産後うつ」などメンタル面でリスクを抱えた妊産婦や、病院から早期訪問の依頼があったケースに対しては、生後1か月前後の訪問で対応した。 ・他の自治体へ里帰り出産をしている母親に対しては、里帰り先の自治体に訪問依頼をする等状況把握に努めた。 ・目標値を達成できたが、今後も引き続き、乳児の発達確認と母親のメンタル面のフォローも行き、母子両方の心身の健康管理を支援していく。	健康づくり課		
49	認可保育園定員数 (4-2)	1,670 人	1,702 人	1,702 人	1,700 人	H26・27年度 目標値達成 ※次期計画において適切な指標 設定と目標値の見直しを 図ります。		A	・保育需要の増加に伴い、市有地を利用した民間保育所建設の検討を行うとともに、幼稚園の認定こども園化や既存の保育園の定員増を各園に対し要請した。 ・今後も現定員以上の保育需要が見込まれるため、市有地を利用した民間保育所の整備を進めていく。また、幼稚園に対し、認定こども園化を引き続き要請していく。	保育支援課		
50	放課後児童クラブ定員数・箇所数 (4-2)	595 人 15 か所	640 人 15 か所	670 人 15 か所	770 人 16 か所	87.0%	42.9%	C	・H26年度に六合東小学校区第2放課後児童クラブが開所したことにより、定員が30人増加した。 ・放課後児童クラブの対象年齢を小学6年生まで拡大したことや、新規・継続利用希望の割合が上昇したことにより、クラブ申し込み児童数が増加し、一部の放課後児童クラブにおいて待機児童が発生した。 ・引き続き、既存施設を活用したクラブ室確保を中心に進めていく。	子育て応援課		
51	要介護（要支援）認定率 (4-3)	14.10 %	14.08 %	12.6 %	14.0 % (以下)	H27年度 目標値達成		A	・H27年度から開始した「介護予防・日常生活支援総合事業」（厚労省）により、介護サービスの利用を希望する高齢者が、要介護認定を受けずに基本チェックリストを用いた簡易な判定のみでデイサービスやヘルプサービスを利用できるようになった。これを受け、介護認定の更新申請時に本人や家族から希望するサービスについて詳しく聞き取り、不要な認定更新申請の削減に努めた。	長寿介護課		

第4章 だれもが健やかで幸せに暮らせる健康・福祉のまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値			目標値（めざそう値）		進捗率に基づく評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 （計画策定時） a	H26	H27	H29	達成率 b/c	目標値（c）に対する進捗率 $\frac{b-a}{c-a}$			
52	居場所づくり事業実施箇所数 （4-3）	—	10 か所	18 か所	40 か所	45.0%	45.0%	C	<ul style="list-style-type: none"> 「居場所づくり」の推進のため、地区社会福祉協議会や自治会に対して説明を行うとともに、各地区で行っている活動について聞き取り調査を行った。 H27年度から居場所づくりに対する補助金交付を開始したこともあり、居場所開設が増加した。実績値は市が把握しているものの数であり、実際には地域住民が主体的に開設しているものもあるため、今後把握に努める。 	長寿介護課
53	地域高齢者見守りネットワークづくり事業の協力事業所数 （4-3）	20 事業所	63 事業所	97 事業所	117 事業所	82.9%	79.4%	B	<ul style="list-style-type: none"> 市内事業所を戸別訪問し、地域高齢者見守りネットワーク事業の趣旨を説明するとともに、協力事業所としての登録を依頼した。 協力事業所連絡会を年に2回開催し、高齢者の見守りに必要な知識習得のための研修を実施した。 	長寿介護課
54	特別養護老人ホームへ入所の必要性が高い待機者数（年間） （4-3）	68 人	57 人	27 人	30 人（以下）	H27年度 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> H24年度以降、特別養護老人ホーム以外の入所施設の整備を行いサービスを提供していることから、特別養護老人ホームの待機者数が減少傾向にある。 H27年4月からの介護保険制度改正に伴い、特別養護老人ホームの入所条件が要介護3以上に限定され、申込者数が減少したことも要因として挙げられる。 今後も引き続き第6期島田市介護保険事業計画に基づき整備を行い、H30年度に特別養護老人ホーム70床と軽費老人ホーム30床を開設する予定である。 	長寿介護課
55	げんきアップシニア把握事業（二次予防事業対象者把握事業）実施者割合 （4-3）	44%	53.1%	事業廃止	53.0%	事業廃止 ※次期計画において適切な指標設定と目標値の見直しを図ります。		—	<ul style="list-style-type: none"> 基本チェックリストの一齐送付・回収による要支援・要介護状態になる恐れのある高齢者の把握方法は、厚労省がH26年度に示したガイドラインの改正に伴って廃止した。 現在は地域包括支援センターの相談対応や地域の関係機関との連携等により対象者を把握し、必要なサービスにつなげている。 	長寿介護課
56	相談支援件数（年間） （4-4）	8,272 件	9,978 件	9,376 件	9,300 件	H26・27年度 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> H24年度から新たに計画相談事業を開始したことにより相談件数が大幅に増加したが、事業の進展に伴い現在は相談件数が落ち着いてきている。 	福祉課
57	障害者雇用率 （4-4）	1.44%	1.91%	1.87%	2.00%	93.5%	76.8%	B	<ul style="list-style-type: none"> 障害者との面談を実施し、障害者一人ひとりの状況把握とケアに努めている。 保護者に対し職業訓練校等の入学情報の周知を行うほか、企業や障害福祉サービス事業所を相談者へ紹介し、見学会への参加を促すことで雇用に繋げた。 	福祉課

第4章 だれもが健やかで幸せに暮らせる健康・福祉のまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値			達成率 b/c	目標値(c)に 対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$	進捗率 に基づく 評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27	H29 c					
58	COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度 (4-5)	47.1% (H25)	-%	-%	58.0%	-	-	-	・H26、27年度については市民アンケートを実施しておらず実績値が把握できないため、次期健康増進計画策定時の調査を実績値とする予定。 ・COPDの病態や予防行動（禁煙）の啓発活動を継続して行っていく。	健康づくり課
59	1日3皿（約210g）以上野菜をとる市民の割合 (4-5)	成人期6.1% 高齢期5.0% (H25)	-% -%	-% -%	24.0%	-	-	-	・H26、27年度については市民アンケートを実施しておらず実績値が把握できないため、次期健康増進計画策定時の調査を実績値とする予定。 ・子育て世代から高齢期までに対し、それぞれに対応した食育を推進するため、幼児検診や乳幼児から高齢者までの食に関する相談事業、健康教育、各種講座などにより個別や集団に対して具体的な指導を行っている。	健康づくり課
60	大腸がん検診受診率 (4-5)	31.5%	32.8%	33.3%	40.0%	83.3%	21.2%	C	・40～60歳の5歳刻みの男女を対象に、H23年度からがん検診無料クーポン券を配布する事業（補助事業）を開始し、H27年度も引き続き実施することにより受診率の向上に努めた。 ・受診勧奨として、H26年度は地区まわり検診対象者に検診セットを送付、H27年度はクーポン券と検診セットを同封することにより受診率の向上に努めた。	健康づくり課
61	新島田市民病院建設に係る進捗率 (4-6)	10%	0.1%	0.1%	50%	※事業は着実に進捗していますが、次期計画において適切な指標設定と目標値の見直しを図ります。		-	・新病院建設に向け、H27年10月に「新市立島田市民病院建設基本計画」を策定し、H28年3月に基本設計業者の選定と契約締結をした。 ・基準値はH24年度の「まちなか集積医療基本構想」を基に設定されたもので、全体の事業費に対する執行額の割合で実績値を示しているため進捗率自体は小さくなっているが、実施設計に向けて着実に事業を進めている。 ◆今後の計画 ・H29年度：実施設計、H30：工事着手	病院建設推進課
62	診療所等から島田市民病院への紹介率 島田市民病院から診療所等への紹介率 (4-6)	59.54% 80.93%	60.17% 67.02%	59.51% 77.11%	65%以上 80%以上	現時点では達成困難		D	・「病院紹介パンフレット」を毎年作成し、診療所へ配付をしている。 ・年によって紹介率算出方法に違いがあるため、年度ごとに実績値が増減することがある。 ・地域医療支援病院の基準のひとつである、「診療所等から病院への紹介率50%以上かつ病院から診療所等への紹介率70%以上」は達成している。 ・当院から診療所への紹介については、紹介されて受診した患者及び安定期・慢性期に入った患者をできるだけ診療所へ紹介するよう各科医師が努めている。 ・在宅医療推進により病院と診療所間の連携がより強化されることが見込まれるため、今後の数値が大幅に下がる可能性は低い。	地域医療連携室

第4章 だれもが健やかで幸せに暮らせる健康・福祉のまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値 (めざそう値)	達成率 b/c	目標値 (c) に対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$	進捗率 に基づく評価	主な取組内容・成果・要因	所管課	
		H24 (計画策定時) a	H26	H27	H29 c						
63	島田市看護専門学校卒業生の看護師国家試験合格率 (4-6)	100 %	100 %	100 %	100 %	H19年度以後 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> ・業者による模擬試験を実施し結果を分析することで、学生の補習講義内容や方法を検討・実施した。 ・成績不振者に対しては個人面接や長期休暇中の補習講義を行い、学習方法や習慣を早期に獲得させている。 ・各学年に担当・副担当を計3名置き、学習面だけでなく人としての成長を目指した個別指導を行っている。 ・H27年度も卒業生全員が合格し、9年連続看護師国家試験100%合格を達成している。 ・教員一人ひとりが、学習面だけでなく“人としての成長”を最終目標に、より良い看護師の育成を意識し取り組んでいる。 	教務課	
64	特定健康診査受診率 (4-7)	37.8 %	36.7 %	37.0 %	55.0 %		現時点では達成困難		D	<ul style="list-style-type: none"> ・市民対象のがん検診にて特定健診を同時に行う国保総合健診を実施し、対象者は年1回の受診で健診が済むようにした。 ・受診率向上を図るために、特定健診の実施回数を毎年増やし、土曜日も実施した。 ・受診者数が少ない40・50歳代の対象者に対し重点的に受診勧奨を行う。 	国保年金課
65	国民健康保険税収納率 (4-7)	93.3 %	94.1 %	94.7 %	95 %		99.7%	82.4%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・国保税決定通知書発送時や分割納付のための来庁時など様々な機会を捉え、納税義務者に対し口座振替による納付を勧奨した。 ◆H27年度本算定時口座振替：8,230世帯、55.40% ・差押予告書を発送しても納付がない者に対しては、早期に財産調査を実施し、滞納処分に着手した。 ◆H27年度差押実施件数：88件 ・滞納整理に関する情報収集や徴収連携のため、納税課と相互協力体制を密にするとともに、高額・悪質滞納者の中でも特に困難な事案について、静岡地方税滞納整理機構へ徴収事務の引継ぎを行った。 ◆H27年度移管案件：16件、収納額：3,866,550円 ・高額療養費、葬祭費などの支給対象者のうち、滞納者や短期被保険者証及び資格証明書の交付者に対する納付指導の強化を図った。 ・社会保険加入者への国保脱退手続きの周知等により、被保険者資格の適正化を図った。 ・世帯所得が把握されていない滞納者に対し、年3回郵便にて簡易申告書の提出を促し、所得の把握に努めるとともに、適正な課税を行うことで滞納額の削減を図った。 ・徴収努力により収納率は毎年上昇傾向にあるが、新規滞納者の発生を防ぐため、納税相談（指導）を早期に実施し、滞納額の抑制に努める。 ・市税の公平性を保つため、担税力のある被保険者の滞納者に対しては滞納処分を積極的に行っていく。 	国保年金課

第5章 自然と共存する資源循環型のまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値 (めざそう値)	達成率 b/c	目標値 (c) に対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$	進捗率 に基づく 評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27	H29 c					
66	家庭版環境マネジメント事業参加世帯数 (5-1)	862 世帯	728 世帯	305 世帯	1,350 世帯			D	<ul style="list-style-type: none"> ・H25年度まで行っていた県民運動「ふじのくにエコチャレンジDAYs」事業がH26年度から変更され、「ふじのくにエコチャレンジCHECK」事業となった。 ・H26年度はイベント参加者や小学生を主な対象としてエコチェックシートを実施していたが、回収率が低かった。このため、H27年度はくらし・消費・環境展にて配付回収を行った。 ・結果的に小学生がいる世帯へのチェックシート配付を取りやめたため全体の実績値は大幅に減少した。 	環境課
67	エコアクション21認証取得事業者数 (5-1)	72 事業者	74 事業者	76 事業者	83 事業者	91.6%	36.4%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・商工課や島田市商工会、島田市建設業協会を通じ、事業者向けエコアクション21取得セミナーの参加者を募った。 ・H27年度は新規に2事業者がエコアクション21の認証を取得したが、H24年度から取得事業者数が伸び悩んでおり、認証取得によるメリットや周知方法等を検討する必要がある。 	環境課
68	太陽エネルギー利用設備導入助成利用者の発電容量 (5-1)	3.9 Mw	6.1 Mw	7.2 Mw	4.3 Mw	H26・27年度 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭の平均発電出力は増加しているが、補助金交付件数は減少傾向にある。(H26年度：265件、H27年度：212件) ・今後、市広報紙等を活用し、事業の周知を図っていく。 	環境課
69	島田市の大規模発電施設における、再生可能エネルギーによる発電容量 (5-1)	2.0 Mw	6.1 Mw	6.1 Mw	7.0 Mw	87.1%	82.0%	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設別計画発電出力 ①田代環境プラザ(バイオマス)：1,990kw ②ソーラーパークしまだ(太陽光)：1,500kw ③伊太発電所(水力)：893kw ④島田浄化センター水処理棟(太陽光)：199kw ⑤富士山静岡空港太陽光発電所(太陽光)：1,525kw ・H27年度以降は大規模発電施設設置の予定はなく、H26年度の数値で横ばいとなる見込み。 	環境課
70	1人当たりのごみ排出量 (年間) (5-2)	916 g/ 人・日	885 g/ 人・日	886 g/ 人・日	893 g/人・日 以下	H26・27年度 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理容器「キエーロ」の実証実験を実施するなど、生ごみの発生抑制等の推進を図った。 ・H26年度実績値とほぼ横ばいであるが、目標値は達成しており、ごみの減量化は順調に進んでいると考える。 	環境課
71	古紙、ペットボトル、トレイ等のリサイクル率(年間) (5-2)	22.8%	21.0%	19.8%	30.6%			D	<ul style="list-style-type: none"> ・H26年度から開始した古布類の拠点回収及び小型家電の行政回収の推進に加え、雑紙分別回収のPRを図った。 ・資源ごみや古紙については、市内コンビニエンスストアやスーパーマーケット等での回収が活発化したことや、ペーパーレス化が進んだことにより、排出量が全体的に減少している。 	環境課

第5章 自然と共存する資源循環型のまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値 (めざそう値)	達成率 b/c	目標値 (c) に対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$	進捗率 に基づく 評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27	H29		c			
72	汚水処理人口普及率 (5-2)	33.81 %	34.99 %	35.53 %	39.83 %	89.2%	28.6%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道は、若松町地内ほかで汚水管の整備工事を行った結果、新たに2.14haを供用開始し、市における供用開始区域が207.47haとなった。 ・合併処理浄化槽は、430基（新設408基、単独処理浄化槽からの転換22基）の設置費に対し補助金を交付した。 	下水道課
73	リバーフレンドシップ同意書締結団体数 (5-3)	16 団体	21 団体	20 団体	20 団体	H26・27年度 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> ・「大代川リバーフレンド」が参加人数の減少により締結解除となり、締結団体数は1団体減少したが、目標値は達成している。 ・岸町自治会、身成北自治会、身成堀之内自治会、身成南自治会の4団体が新規に調印する予定。 	土木管理課
74	森林整備面積 (年間) (5-3)	238 ha	208 ha	263.14 ha	285 ha	92.3%	53.5%	C	<ul style="list-style-type: none"> ・H27年度は、森林施策補助や森林(もり)づくり県民税を財源とした森の力再生事業を中心に、計263.14haの森林整備を行った。 ◆整備面積内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・森林施策補助の整備面積：64.8ha ・県単独事業の森の力再生事業：171.12ha ・森林整備加速化・林業再生事業：27.22ha ・引き続き整備事業の補助を行い、森林整備の促進を図る。 	農林課
75	アースキッズ事業参加者数 (年間) (5-4)	259 人	427 人	395 人	300 人	H26・27年度 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> ・H27年5月に、県内初となるアース・キッズ・チャレンジ「キックオフイベント」が市内で開催されたことにより、新聞記事等に掲載され、事業未実施校に対するPRになった。 ・参加者数は増加していく見込みであるが、同時に市の費用負担額も大きくなるため、予算の調整等を行う必要がある。 	環境課
76	田代環境プラザ・ソーラーパークしまだ (メガソーラー発電所) 見学者数 (年間) (5-4)	1,630 人	1,240 人	1,127 人	2,000 人	現時点では達成困難 ※次期計画において適切な指標設定と目標値の見直しを図ります。		D	<ul style="list-style-type: none"> ・H27年度においてソーラーパークしまだへの単独施設見学者はなかったが、田代環境プラザへの見学者に対する説明の中でソーラーパークしまだの紹介を併せて行った。 ・田代環境プラザにおいては、市内及び川根本町の小学校や、エコアクション21取得事業所が見学に訪れたことに加え、環境係主催で「夏休み親子環境学習講座」も開催した。 	環境課

第6章 人を育て、歴史を大切に新しい文化を創造するまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値（めざそう値）		達成率 b/c	目標値（c）に 対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$	進捗率 に基づく 評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27	H29 c						
77	静岡県が示している耐震基準 に対する学校施設の耐震化率 (6-1)	82.4%	83.5%	89.2%	90.0%	99.1%	89.5%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・初倉小学校校舎の耐震補強工事と川根小学校校舎の改築工事を実施し、学校施設の耐震化を推進した。 ・耐震性能が劣る学校施設はH26年度末時点で校舎棟14棟、体育館3棟の計17棟が残っていたが、H27年度の事業実施により、H27年度末における残は校舎棟8棟、体育館3棟の計11棟となった。 ・H29年度目標値達成に向け、H28年度から神座小耐震化事業に着手する。 	教育総務課	
78	授業がよくわかると思う児童・生徒の割合 (6-1)	85% (小・中学校合算)	小90.0% 中82.1%	小88.2% 中82.2%	小90% 中80%	98.0% 102.8%	64.0% 56.0%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた授業を進めていくため、支援員（学習指導・学校教育）を全校に配置した。 ・全国学力・学習状況調査の結果分析から、市内全教職員に分析結果、考察及び授業改善の視点を盛り込んだリーフレットを作成・配付した。 ・引き続き、子ども達の学びへの意欲が高まるように、ハード面・ソフト面ともに学習環境の整備に努めていく。 	学校教育課	
79	小学校パソコン教室における 児童用パソコン配備数 (6-1)	291台	291台	291台	540台	現時点では達成困難 ※次期計画において適切な指標 設定と目標値の見直しを 図ります。		D	<ul style="list-style-type: none"> ・教育カリキュラムの変更に伴い、パソコン利用のあり方も変化している。H28年度に指定したモデル校3校において、タブレット端末を利用した授業の効果について検証を行い、その結果を踏まえて市内全小中学校への導入を検討する。このことにより、パソコン機器の増設は見送っている状況。 	教育総務課	
80	学校給食における島田市産 農産物の使用割合（重量） (6-1)	32%	37.04%	37.42%	40%	93.6%	67.8%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・H27年度の実績値は、島田市産農産物重量37.42%、品目40.00%となり、目標値に近づいた。 ・地産地消推進連絡会議を年2回開催したり、学校給食センターと生産者との連絡を密に取り合うことで、地場産品を使用した献立を計画的かつ安定的に取り入れることができた。 ・生産者が学校へ出向き農産物について講話を行うことで、児童・生徒から“生産者の顔が見える”給食となり、生産者や食材への感謝の気持ちを育んだ。 	学校給食課	

第6章 人を育て、歴史を大切に新しい文化を創造するまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値 (めざそう値)	達成率 b/c	目標値 (c) に対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$	進捗率 に基づく 評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27	H29 c					
81	しまだ楽習センター利用者数 (年間) (6-2)	49,016 人	47,846 人	47,209 人	50,200 人				<p>・ H26年度からの消費税増税に伴う貸し部屋使用料及び受講料の増額や、H27年度からの島田市いきいきクラブ事務局の移転が利用者数減少の要因であると考える。</p> <p>・ 施設使用件数はH26年度と比較し増加したものの、利用者数は約1.3%減少しており、1団体あたりの利用人数が微減となった。</p> <p>◆利用者内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教養講座：1,271回、19,698人 ・ にほんご教室：42回、600人 ・ 一般利用等：2,500回、26,911人 ・ マナビィまつり：2日間、800人 	社会教育課
82	公民館等利用者数 (年間) (6-2)	163,086 人	172,372 人	176,449 人	167,200 人		H26・27年度 目標値達成	A	<p>・ 市民の生涯学習及び地域文化の交流拠点として、利便性向上と環境改善に努めた。</p> <p>・ 各施設において、市民学級・高齢者学級のほか、「おやじの井戸端講座」(金谷)、「里の楽校」(初倉)、「子どもチャレンジクラブ」(六合)、「里山ウォーキング講座」(川根)といった特色ある講座を開催し、利用者の増へと繋げることができた。</p>	社会教育課
83	図書館資料の貸出冊数 ※市民1人当たりの年間貸出冊数 (6-2)	4.8 冊/ 人・年	5.6 冊/ 人・年	6.0 冊/ 人・年	7.0 冊/ 人・年	85.7%	54.5%	C	<p>・ 図書館利用者増を図るため、①図書館おはなし会(110回2,038人参加)、②おはなし宅配便(21園1,422人)、③ブックスタート・キッズブック(計48回実施1,584人)、④ぬいぐるみの図書館おとまり会(10組参加)、⑤図書館福袋貸出し(2冊1袋で67袋)、⑥読書通帳交付(931冊)等の事業を実施した。</p> <p>・ H27年度総貸出冊数は596,554冊で、前年度実績は上回ったものの伸び悩んでおり、利用促進に向けたより一層の取組が必要であると考える。</p>	図書館課
84	市立図書館蔵書数 (6-2)	398,499 冊	412,777 冊	426,183 冊	437,500 冊	97.4%	71.0%	B	<p>・ H27年度実績図書購入費執行額：35,299,306円</p> <p>・ H27年度目標蔵書数：411,000冊</p> <p>・ H30年度に文部科学省が示す「これからの図書館像」の基準による人口10万人に対応する蔵書数である45万冊の達成を目指して、蔵書計画を立て計画的に購入しており、H27年度分の目標蔵書数については大幅に上回っている。</p>	図書館課

第6章 人を育て、歴史を大切に新しい文化を創造するまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値（めざそう値）		達成率 b/c	目標値（c）に 対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$	進捗率 に基づ く評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27 b	H29 c						
85	家庭教育講座参加者数（年間） （6-3）	383 人	388 人	1,939 人	440 人	H27年度 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> ・ H27年度は講座内容や回数の見直しを行い家庭教育の充実を図った。 ・ 「思春期の子をもつ親の講座」の開催回数を1回増やしたほか、「初めて0歳児をもつ親の講座」や「中学生体験講座」（六合中3年生と乳児親子対象）を新規に開催した。 ・ 今後も、講座終了後にアンケート等を実施し、講座の内容や実施方法の改善に努め、家庭教育支援事業を推進していきたい。 	社会教育課	
86	社会教育施設（図書館、公民館等）におけるおはなし会参加者数（年間） （6-3）	3,175 人	3,348 人	3,882 人	3,700 人	H27年度 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育課（公民館等）1,844人、図書館課（市内3図書館）2,038人 ・ 島田図書館でのおはなし会の案内放送をこども館にて行ったことにより、参加者が増加した。 ・ 各読み聞かせボランティアグループによるおはなし会が定着する中で、さらに新規で参加を希望する団体がある。 ・ 地域の子育て支援センターや子育てサークルと連携し活動を進めていることも参加者増に繋がっている。 	社会教育課 図書館課	
87	青少年声掛け運動参加者数（年間） （6-3）	9,256 人	9,780 人	10,099 人	10,000 人	H27年度 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県下一斉夏季少年補導を7月28日に開催し、156人の参加者と市内のコンビニ、スーパー、書店、公園等の見回りを行った。 ・ 明るく安心して暮らせるまちづくり市民大会を実施し、約600人の参加があった。 	社会教育課	
88	1日30分以上で週1回以上の運動を継続して行う市民（成人）の実施率 （6-4）	42.0 % (H25)	- %	- %	50 %	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ H25年度に指標を変更したことにより実績値の比較ができていない。 ・ 「スポーツのまちづくり計画」策定に向け、H28年度に実施予定のアンケート調査にて実績値の把握に努める。 ・ 半数以上の市民が継続的な運動を実施できていないため、運動に対する無関心層に対し働きかける必要がある。 ◆ニュースポーツ教室開催（参考） ・ 開催数69回、参加人数（延べ）1,002人 	スポーツ 振興課	
89	主要社会体育施設の利用者数（年間） （6-4）	433,083 人 (H25)	441,730 人	518,227 人	480,000 人	H27年度 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人工芝サッカー場が完成したことで、天候に左右されずに施設を利用できるようになり、利用者の増に繋がった。 ◆利用者数内訳 ・ 総合スポーツセンター：322,021人 ・ 島田球場ほか社会体育施設：196,206人 	スポーツ 振興課	

第6章 人を育て、歴史を大切に新しい文化を創造するまち

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値 (めざそう値)		達成率 b/c	目標値 (c) に対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$	進捗率 に基づく評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27	H29 c						
90	島田市民文化祭出展者数 (年間) (6-5)	754 人	741 人	706 人	800 人	現時点では達成困難			D	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの原画作成を地元高校生へ依頼し、若年層の関心を高めるきっかけ作りをした。 ・募集要項、ポスター・チラシ等を市内各施設・各自治会等へ配布したほか、広報紙での周知を行った。 ・H26年度から市民文化祭開会式を行うこととし、市民文化祭の開催を広く周知した。 ・出展者の高齢化や固定化が見られることから、幅広い年齢層や類似の発表会へも働きかけていく。 	文化課
91	お茶の郷入館者数 (年間) (6-5)	40,971 人	39,272 人	46,455 人	50,000 人	92.9%	60.7%		B	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値達成には至らなかったが、過去の実績を上回ることができた。 ・指定管理者が旅行エージェント等へ営業を行い、博物館の団体客が対前年比約30%の増となった。また、SNS等で積極的な情報発信を行ったことにより、茶室の入館者数が個人・団体ともに増加した。 ・H28年6月に県へ移管され、「ふじのくに茶の都ミュージアム」(仮)としてリニューアルオープン予定であるが、今後も継続して入館者数の把握に努める。 	農林課
92	お茶の入れ方セミナー参加者数 (年間) (6-5)	336 人	945 人	963 人	500 人	H27年度 目標値達成			A	<ul style="list-style-type: none"> ・H27年度は農林課が356人、J A 大井川が607人を対象にセミナーを開催し、合計数でH26年度実績値を上回った。 ・農林課主催の開催回数のみでも目標値を達成できるようセミナー実施回数を検討していく。 	農林課
93	博物館・博物館分館入場者数 (年間) (6-6)	42,383 人	30,533 人	42,810 人	45,000 人	95.1%	16.3%		D	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントについては、博物館主催「こどもの日の集い」や、市民団体と協同し開催した参加型イベント「川越し大学オープンキャンパス」などにより、例年以上の入場者数となった。 ・展示については、郷土の歴史や文化を紹介した「島田と太平洋戦争」展(入場者数:6,047人)や、新市誕生10周年記念事業「折りの細道—島田の仏教美術—」展(入場者数:5,231人)において、展示会平均入場者数4,500人を大いに上回った。 ・小学生に博物館を身近に感じてもらえるよう、第2・3日曜日に簡単な工作教室「しまはくワークショップ」を開催した。 	文化課

第7章 市民と行政がともに創る、活力に満ちたまち～まちづくりの進め方～

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値（めざそう値）		達成率 b/c	目標値（c）に 対する進捗率 $\frac{b-a}{c-a}$	進捗率 に基づく 評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27	H29	b					
94	市民ファシリテーターの養成人数 (7-1)	-	21人 (初級終了)	24人 (中級終了)	30人	80.0%	80.0%	B	<ul style="list-style-type: none"> 計6回の研修を行ったのち、第7回目に受講生が主体となった「地域サロン」を開催し、研修で学んだ「明るい雰囲気作り」や「前向きな意見を引き出す手法」を活かして参加者とともに大いに盛況した。 研修終了後のH28年3月に、「自治基本条例を考える市民会議」をテーマとした「しまだんわ」と称したサロンを開催し、受講生が身につけたスキルを發揮した。 これからのまちづくりにおいて、地域課題解決に向けたサロン（ワークショップ）開催の必要性が高くなることが予想されるため、ファシリテーターの存在が非常に重要になると考える。今後も継続した人材育成を行うとともに、受講修了者がスキルを發揮する場や仕組みを構築していきたい。 	協働推進課	
95	「男は仕事、女は家庭」という男女の役割を固定的に考える意識にとらわれない市民の割合 (7-2)	46.6%	-%	-%	65%	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 指標どおりの文言を用いたアンケート調査は行っていないため実績値はなしとする。H27年度島田市市民意識調査結果から、女性の社会進出について「推進すべき」という回答が81.2%を占め、対25年度比で34.6ポイント増加している。このことから、男女の役割についての意識の変化が現れていると考える。 ◆H27年度実施事業 <ul style="list-style-type: none"> 女性議会、男女共同参画の日街頭広報活動、静岡大学生との共同研究、女性相談（月2回、相談件数30件） 	協働推進課	
96	人権教育啓発講習会の受講者数（年間） (7-2)	-	0人	650人	150人	H27年度 目標値達成 ※次期計画において適切な指標設定と目標値の見直しを図ります。		A	<ul style="list-style-type: none"> 市内保育園や幼稚園及び小中学校において、人権擁護委員が講師を務める「人権教育出前講座」を10回開催し、園児・児童・生徒をはじめ、教職員や保護者など約650人が受講した。 今後は、SNS等による人権侵害をテーマにした講座の新設を予定している。 	生活安心課	
97	普通財産（法定外公共物を含む）譲渡件数 (7-3)	211件	304件	326件	386件	84.5%	65.7%	B	<ul style="list-style-type: none"> H27年度は市有地の売り払いを2回（3か所）実施したが、落札はなかった。また、法定外公共物の譲渡件数は例年のほぼ半数に留まった。 市有地の売払い入札に関しては、適正な予定価格設定のため、毎年不動産鑑定評価を依頼している。 	財政課	
98	島田市・リッチモンド市友好親善使節参加者総数 (7-4)	503人	532人	544人	600人	90.7%	42.3%	C	<ul style="list-style-type: none"> H27年度は、島田市国際交流協会においてリッチモンド市からの学生親善使節3人の受入及びリッチモンド市への学生親善使節9人の派遣を行った。帰国後には帰国報告発表会等を開催している。 学生相互派遣については、国際感覚を養うことや視野を広げることに繋がるため多くの学生に参加してもらうことが望ましい。しかしながら、リッチモンド市への学生友好親善施設派遣については、受入先のホストファミリー等の事情により派遣可能な人数に限られる。 	地域づくり課	

第7章 市民と行政がともに創る、活力に満ちたまち～まちづくりの進め方～

No.	めざそう値 指標	基準値	実績値		目標値 (めざそう値)	達成率 b/c	目標値 (c) に対する進捗率 $\frac{(b-a)}{(c-a)}$	進捗率 に基づく評価	主な取組内容・成果・要因	所管課
		H24 (計画策定時) a	H26	H27 b	H29 c					
99	市ホームページ総ページ ビュー数 (年間) ※再掲 (7-5)	310 万件	309 万件	309 万件	350 万件	現時点では達成困難		D	<ul style="list-style-type: none"> ・データセンターにサーバを設置し、インターネット回線から更新することにより災害時や障害時における安定稼働を確保している。 ◆SNS利用状況 (H28年9月7日現在) : <ul style="list-style-type: none"> ・Twitterフォロワー数 4,028件 ◆YouTube公開動画 (H24年度公式チャンネル開設) : <ul style="list-style-type: none"> ・島田市プロモーションビデオ ・市長就任1年を振り返って ・女性議会 ・事業仕分け ・島田市新市誕生10周年を迎えて ～市長ビデオメッセージ～ ほか 	広報課
100	経常収支比率 (年間) (7-5)	89.8 %	91.6 %	88.5 %	90 %以下	H27年度 目標値達成		A	<ul style="list-style-type: none"> ・経常収支比率を算定する計算式について、分子となる歳出が減額し、分母となる歳入が増額したことから、経常収支比率が改善し目標値を達成した。しかし、県内他自治体と比べ財政構造の弾力性が乏しい現状であることには変わらないため、このことを十分認識しつつ、既存事業の見直しや歳出の一層の効率化を図るとともに、必要な財源の確保に努めていく考え。 (参考) ・歳出について…退職者数の減による退職手当 (人件費) の減、牧之原畑地総合整備土地改良区負担金などの補助費等の減により、前年度比で減額となった。 ・分母となる歳入…臨時財政対策債は減となったものの経常一般財源等である地方消費税交付金及び地方交付税の増などにより、前年度比で増額となっている。 	財政課